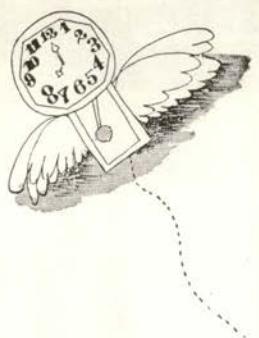


神戸百店会
だより



★ちんがらや秋の珍趣

“竹”展示会

日本美“竹”をテーマにちんがらや第34回展がオリエンタルホテルで、8月25・26日に催された。見事な竹シリーズは、あでやかにまたひつそりと竹の持つ雄勁さと清穏さを十分に、伝えた印象深い作品にこひいき筋も満足げな様子。

黒留袖の粋な柄・小紋着尺のファンタジー・中振袖の大胆な鮮かさは、神戸の呉服専門店ならではの新しい音吹きを感じた。



竹シリーズの作品

★四万人を集めたコトブキ夏祭り
9月、8、9、10日の3日間、お菓子のコトブキ武庫川工場新グラウンドで、「コトブキ夏祭り花のペーパージェント」が催された。9日には交通遺児を招待



ロータリー・コーラス・グループ



故 浜野勝次郎氏

平均年齢70歳の自慢のノドを披露した。二部合唱がどうしても四部合唱になつてしまつたが、それでも拍手

ス・グループも応援出演、柳歳一先生の音楽生活40年記念コンサートが8月30日、国際会館で開かれた。鳳月堂の吉川進社長はか三名のロータリー・コーラ

★本成駒家浜野勝次郎氏
永田良一郎氏母堂逝去

8月24日本成駒家浜野勝次郎氏(43)が、8月28日永田良介商店永田良一郎氏の母堂みつゑさん(68)が逝去されました。

つつしんでご冥福をお祈ります。

★コトブキ夏祭り
9月中旬に改裝、より明るいお店になりました。10月中旬には新作ショーガ開かれる予定です。

★国際会館1Fのペーパー毛皮店が9月中旬に改裝、より明るいお店になりました。10月中旬には新作ショーガ開かれる予定です。

★国際会館1Fの御木本真珠店では、10月23、24日の両日、大阪ロイヤルホテルで、秋の新作バール展示会を行ないます。

★トア・ロードの婦人帽子店マキシンに新作がそろいました。今年の秋はブリムもやや広いソフトな感覚のものに人気が集まりそうです。復古調のクラウンのやや深いものも新しい傾向です。

は一番大きかつたのである

★中川衣裳店
秋の新作展示会



オリエンタルホテル・展示会場にて

★ショップ・トピックス
★舶来雑貨のサノヘが、秋の新着輸入雑貨コレクションを10月6日と11日、元町店で催します。なお恒例のサノヘ・ファッショング・ショーガは10月28、29日、オリエンタルホテル・バラの間で開かれます。

尼崎市長が「くじけず頑張ってほしい」と励ましの言葉をのべた。山城新吾はかく盆踊り。夜店も百店舗あたり、夏の夜を楽しむ人々は3日間で四万人、盛大な祭りとなつた。

★絶対に合わないコーラス

国際会館で晴れの舞台

武庫川女子大音楽教授・

柳歳一先生の音楽生活40年

記念コンサートが8月30日、国際会館で開かれた。

鳳月堂の吉川進社長はか

三名のロータリー・コーラ

ス・グループも応援出演、

柳歳一先生の音楽生活40年

記念コンサートが8月30日、

国際会館で開かれた。

新作展示会が開かれた。

打ちかけ、お色直し、ウ

エディングドレス、イヴニ

ングドレス、広い会場もは

なやかな彩りにホットな雰

囲気。時代に対応してだん

だん派手めな傾向がみられ

た。

TEL 051-586-1770

★コート・ロードのアーケードチャ

ルエスター・ニュートンが、この9

月10日、明るく若々しいインテリ

アで新装開店しました。これからは日曜日がお休みになります。

★トア・ロードのオートクチュ

ルエスター・ニュートンが、この9

月10日、明るく若々しいインテリ

アで新装開店しました。これからは日曜日がお休みになります。

★舶来雑貨のサノヘが、秋の新着

輸入雑貨コレクションを10月6日

と11日、元町店で催します。

なお恒例のサノヘ・ファッショ

ング・ショーガは10月28、29日、オリ

エンタルホテル・バラの間で開か

れます。

★トア・ロードのオートクチュ

ルエスター・ニュートンが、この9

月10日、明るく若々しいインテリ

アで新装開店しました。これからは日曜日がお休みになります。

★トア・ロードのオートクチュ

ルエスター・ニュートンが、この9

月10日、明るく若々しいインテリ

する若者が二人いる。

いそもとはるあき(22)、

服部豊(21)。

沈滯した神戸文化界に、

映画による流動的状況をつ

くりだし、行動力あるシネ

クラブを結成して映画だけ

でなく、いろんな方面に展

開できる運動づくりを目指

している。

その第一回が、10月10日

からの「ブリリアントな歐

州の巨匠たち」と題する、

これまた素晴らしい映画特集

である。場所は海員会館。

1 フェデリコ・フェリーニ

8号・映画のジユリエッタ

2 アラン・レネ

24時間の情事・戦争は終った

10月10日6時~10時

3 ミケランジェロ・アントニオ

1~2 女どもたち・赤い砂漠

10月31日5時~10時

4 ジャン・リュック・ゴダール

恋人のいる時間・立派な詐欺

師・男性女性

11月14日5時~10時

詳しくは、月刊神戸つ子

または月刊プレイガイドま

で。TEL 06・351・1743

★幻想のインテリア展

開かる

10月8日~11日、神戸商工貿易センター・サンボーホール二階で、住宅に関する総合展「ハウジング・ヘヤー」に併催して、神戸新



さんちか広場の大デッサン展

さんちか広場の大デッサン展
洋秀会と神戸プラウス・グループの企画による神戸
9月10日国際会館で開かれ
宮川賢一氏の演出は、スラ
イド・若者の会話なども入
り動きのあるショーエキシビ

ションのデッサン展をやるのか疑
問を持つのだが……。

開主催の「幻想のインテリ
ア展」が開かれる。

★コスモボリタンな女性二
人が「国際コミュニケー
ションサービス」を発足

九月一日からコスモボリ
タンなセンスと学識経験を

もち美人でもある、後藤ア
リス、川上也須子さん二人

が、神戸ではじめての「A
&Y国際コミュニケーション
サービス」神戸市長田区

二葉町10-7TEL(73

一)五一五七を設立。

事業は、同時通訳、レセ

プショニスト、商業英語ア
ドバイザー、速記、タイ

プ、資料翻訳、観光ガイ

ド、コン・スパンディングセン

ス、海外旅行オリエンテー
ション、語学セミナー。

新しい女性の可能性を伸
ばす国際的な仕事で、彼女
たちの活躍が期待されてい
る。

★ファッショニ

ンの秋

はなやかに開幕!

運転免許証を持っているものは

このことを知っているが、一般の

歩行者には徹底していないよう

である。車の後部で白色のランプが

点灯したら、その車はバックする

……ということを知つておいては

いい。

バックランプ

川口陽之

(自動車評論家)



☆ドライバーメモ

ぞくと信楽の里におしよせ
ている。その成果の展示が

六五し一九六九年の間、
自らの詩と評論を、「仮名

手本詩乱四十七行その他」

★毎日新聞神戸支局の電話番号が
変更になりました。支局代表 (○

七八) 三七一三三二、店長用
三七一三二八、英文毎日編集三

七一三三二〇です。

★編集企画センター(藤村哲也)

が神戸市生田区元町本通2丁目6

ノ1淡路ビル4F (TEL 33-110
六四六) に移転しました。

★津高和一画伯が、ブラジルで個
展を開かれ好評のうちに帰神され

例年のごとく10月24日(木)~11月3日
まで、津高邸(西宮市高木西町三
八)(○七九八)、六七一七五で、「対話のための作品展」が開
かれます。秋の一日芝生の庭で、
津高画伯の詩情ぬたかな絵をご覧
ください。

★向井登一さんが「ムカイ・ア
ト・コミュニティ」を設立され
ました。事務所は大阪市北区曾根
崎上一丁目三〇番地八千代会館4
F TEL (32) 九〇四三です。

★中西勝画伯の個展は、十一月十
一日から十日間大阪梅田画廊で開
かれます。

★望月美佐さんは堺の日蓮顕本
寺講堂のふすまの「日蓮正人の和
歌」を書き、十一月初旬オーブ
ン。

★三愛シースルーギャラリーで、
塙本敏子さんが「メルヘン」をチ
ームで染色を展示します。十月一
日から十五日間大阪梅田画廊で開
かれます。

★行動美術の松本宏画伯の個展が
大阪のフォルム画廊で、十一月二
日から三十一日まで開かれます。

★中西勝、網谷義郎、鴨居一、西
村功、松本宏の五人展が、神戸そ
うで十月八日(木)~十四日(水)まで開
催。

★兵庫県立近代美術館長の坂本勝
氏をはげます会が、十月初旬「蓄
薇屋」で開かれます。

・「東京屋」オーダーショ
ーは、立龜長三氏の解説で
すすめられ、エレガントと
モダンさのコード・ディネイト
が目をひいた。

・未来派のおしゃれと題し
「コマツヤ」ファッショ
ンショーがさんちか広場で開
かれ、照明と名づけられ
た、カクテルドレス・恋の
物語・スペインの椅子など
が女性の夢を誘った。

★信楽を全国に広める

若手やきもの作家展

一三〇〇年前からの歴史

を持つという信楽焼は、日
常生活に入りすぎて、その

芸術的価値を知る機会がす
くなかつたが、今では美大

を出た若い人たちが、ぞく
ぞくとまとめて、蜘蛛出版

「信楽若手やきもの作家
展」と銘うつてなされた。
飾り陶板から灰皿、アクリ
セリーピン入れ、壁掛け花
びん、ブローチといった小
物類まで、若手らしい造型
美の新鮮さにハツとする作
品が多かった。

★君本昌久氏の詩と評論
「仮名手本詩乱四十七行その他」

神戸の詩人であり、神戸
市民同友会の事務局長でも
ある君本昌久氏(長田区高
取町)が、このたび、一九

入場者数は六千万人を
超えるという万博史上最
高を記録している。

参 加 国 も 最 高 と アジア

で初め開かれた万博は

それなりに成功したとい
えるだろう。

当初の予測どおり万博

会場を中心とした道路計
画が完成し大阪周辺の都
市道路が立派になった。

しかし、皮肉なことに
外人のほとんどが、京都

ということで賛否両論、
かんかんがくがくの頃か
ら数えると4年を経てい
ることになる。

花時計



神戸のポスト万博

9月13日、日本万国博
はいろいろな話題を残し
て幕を閉じた。
アジアで最初の万国博
ということと賛否両論、
かんかんがくがくの頃か
ら数えると4年を経てい
ることになる。

入場者数は六千万人を
超えるという万博史上最
高を記録している。
神戸の詩人であり、神戸
市民同友会の事務局長でも
ある君本昌久氏(長田区高
取町)が、このたび、一九

考えた大阪を世界に売り
込もうという計画は皮算
用に終つたことになる。

万博が終ればポスト万
博ということだ。

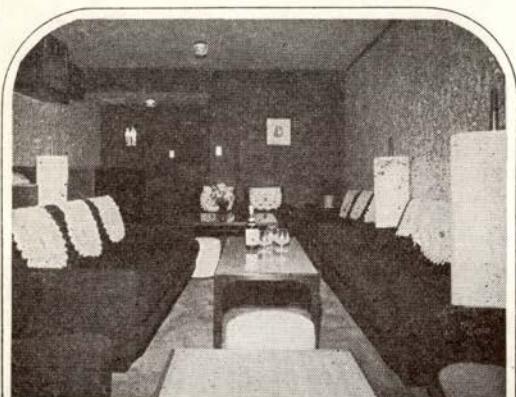
神戸のプロジェクトとい
いえばポート・アイラン
ド計画になる。

現在の生田区の広さに比
敵する。今も着々と埋立
が進められている。
何としても英知を集め
て21世紀の都市を目指し
て実現してほしいもので
ある。

△Y△

K O B E の
気楽な雰囲気が
楽しめる
CLUB 《路》

*



CLUB ふき

路

市電中山手1丁目



生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515

秋の集いに！



〈北欧ヴァイキング料理〉

1400円〈飲食税 140円別〉

飲みはうだい（サントリ一純生ビール）+食べはうだい
クラウン・コーラ

一品料理、日本酒も準備いたしております



なごやかなムード

すばらしい眺望！

スカイサントリー

三宮交通センタービル 9F TEL.39 3705~6

キリシタンの墓

小山牧子
え・石阪春生

呪う鳥

あらすじ 二年前、短期大学を卒業した佳は、神戸のかなり時代がかった高台の西洋館で、華麗なる歌人の母親蘭子との生活に息づまりを感じ、米国系海運会社のエイジェントに勤めにでることにした。

ある夜、バスのヒギンズ氏が、異国の夜のつれづれに佳を誘った。酔った佳とヒギンズ氏を街角で待ちうけていた占いの老婆は、今夜は当面、西に向うな、と佳に言いきった。

「レツツ・ゴオ・ウエスト（西へ行こう）!!」

二人は、騒音にみちた通りをどんどん歩いた。西へ！
西へ！！

二人が歩く両脇から突然ぬくぬくと立ちあがり、頭上の空を原色に染めあげる複雑にもつれあつたネオンの糸。それは、天にひそむ巨大な毒グモがたんねんに張りめぐらした絢爛とした巣に似ている。ひしめく家々は、よく繁茂した原始林の樹木を連想させ、アスファルトの歩道をたえまなく疾走し、同じように西に急ぐ乗用車の群れは、都市の密林に突如おこつた獸たちのパニックである。

「ゴオ・ウエスト!!」

酒の酔いが日常生活のなかで束縛されていたきゅうくつな心を、完全に解きはなつていった。密林を跋扈する太古の原人ながら、ヒギンズ氏は時

どきいたつて人間らしくない蛮声をあげ、赤信号を無視して横断歩道をかけわたる。そうぞうしく警笛をならし怒りの感情をむきだしにして急停車する獸たち。佳を縛るくさりもまた、すべて解きはなたれていた。下山手から県庁前へ――、街路樹の若葉の匂いが生々しい木の体臭となつて、佳の鼻口をふくらませる。と、佳は突然むくむくと自分の身体が伸びだしてゆく奇妙な錯覚にとらえられる。いつか佳は、岩のようになたい筋肉がこぶこぶと盛りあがる褐色の原人の姿に変身したらしいのである。

空にかかる毒グモの巣に似たネオンの糸は、長い不器用な手をあげてはらいのける。ところどころ灯りをともしたビルの窓たちは、よく熟した果実、佳の腕がためらいなく伸びて、それらの果実をちぎり取り噛みする。



「行こう！ 西へ行こう！」

中山手から大倉山、楠六交差点へ。街路樹に縁どられた歩道は、どこまでも続いている。

が、歩いてゆくうちに、佳の身体を熱くしていた酒精は、少しずつ放散されていった。一時間とたないうちに、素裸で密林をのし歩く原人の奔放な心は佳のうちに見え、再びあの現代社会の一員、複雑な機械の一部品にすぎぬ常識人のがんじがらめの心がもどってきた。

アルコールがもたらす昂揚のあとに、ともすればおとずれる白々とした興ざめな気分。

湊川トンネルを通り抜けた時、佳は一人がむきになつている理由さえ思いだすのに苦労する状態になっていた。

蒼白な顔で立ちあがり、遠去か

る佳たちを見送っていた易の老婆

の顔は、再び佳の脳裏によみがえ

ることはない。深い亀裂のよう

皺を刻んだ老婆の顔は、幼い頃に読みあさった童話の絵本の中のひ

とこまと同じように、記憶の底にうずめられている。

すでに人通りが絶えた交差点で

は、海から山になまぬるい風がア

スファルトの大通りをはいのぼり、街灯が孤独な光りの輪を路面に投げている。

で、信号灯の灯の色が青に変るのを待ちながら、佳は鼻白んだ表情で、丈高いヒギンズ氏を見あげていつてみた。

「我々は、さらに西にむかって歩かねばならないだろうか？」

すると、この異国人は両肩を大仰にすくめ答えるのである。

「アイ・ドン・ノオ……」

ヒギンズ氏の酔いも完全にさめて、しらふの彼は何に

もまして女性を鄭重にあつかう例の西欧の男たちの習性をも取りもどしているのである。

「しかし、私はケイが少し休んだ方がいいと思う」

「わたしもそれを願う……」

腕を組みあつて交差点をわたり、二人にふさわしいティールームをさがしたが見あたらぬままに、幾つ目かの街角を北側に曲った。

そこは上沢通りである。

通りにひしめきならぶ民家の灯はほとんど消えていたけれど、その一角には場末といった雰囲気がただよつて佳は、うらぶれた静かさの底から、生活の騒音らしい奇妙なざわめきが響いてくるのを聞いたと思つた。

失望し、引返そうとして立ちどまつた二人の右手に古い寺がある。石の碑に淨土宗願成寺と彫られている

その寺の風化した半開きの門に視線を投げながら、

「日本のテンプル（寺院）に私は非常なインタレスト（興味）を持つ」

つぶやくよう語るヒギンズ氏の目に、強い理智の光りが宿るのを、佳は見たと思つた。

「特に古いテンプル（寺院）はいい」

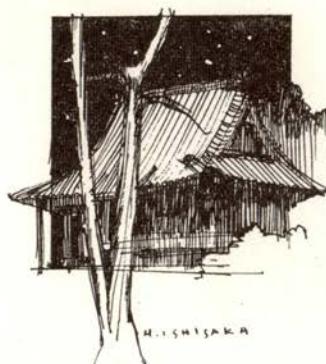
ヒギンズ氏は、足早やに寺の門に近づいてゆき、

「へい、ケイ。もしユウが少し遅くなつてもかまわないならば、私はこのテンプル（寺院）を訪問したいと思うが……」

「イヤア、ミスター・ヒギンズ・ネバー・マイン（かまわぬい）」

佳は、ヒギンズ氏について門をくぐつた。

荒廃しつくした褐色の堂宇は、骸のようであった。同じように古びているが庫裡らしい平家の建物の奥に、ただ一つ奇妙に赤い灯がぼつんと灯つて、風もないのに



堂宇の正面に張られた障子の破れ紙が、はたはたしている。

「へイ、ケイ。これは、ラフカディオハーンの世界であると私は思うが……」

あたりを見まわしながら、ヒギンズ氏がいう。

「わたしもそう思う」

やがて、ヒギンズ氏の目は、寺の荒れた土塀の一角に小さくあけられたくぐり戸を見つけた。この木戸も半開きのまま放置されている。

「あれは？」

ヒギンズ氏は、すぐに好奇心をむきだしにするたちの男だ。

「わたしは、たぶんその奥に墓があると思うが……」

佳が予測した通り、木戸のむこうは墓地になっていた足をふみ入れる佳の記憶の底から、一瞬、あの易の老婆の薄気味悪い顔がおきあがつた。が、その顔を冗談として打消すようにわざと快活な口調で、「ミスター・ヒギンズ、気をつけ下さ。魔はこんなところにいるのかも知れません」

「ふむ、ふむ。これは、まさしくラフカディオ・ハーンの世界である」

ヒギンズ氏は、大満悦であった。

闇の中にひしめく墓石の群れには、寺の建物がもつほど荒廃の色はない。石たちは、人間や建物がもつよりは、はるかに長い生命の時間を寡黙にうずくまつた姿勢でたえつづけることができるからだろう。地底からニヨキニヨキと生えだしたかと思える石の群れは、闇でさえもはね返し、それ自身の力で白く冴えざえと輝いているではないか。

石のもつ堅牢さと量感に気押されたためか、二人は奇妙にむつりと黙りこみ、墓碑をぬって歩いていった。墓地をひとめぐりし、再び土塀近くに帰ってきた時であつた。佳は、苦むした小さな石碑のよこにうずくまる人間らしい形を見て愕然として立止まつた。手は、しつ

かりとヒギンズ氏の骨っぽく大きな手をにぎっている。佳たちが近づいたのを知つてか、黒い塊まりに似た人は顔をあげ、二人を見たようである。が、細部の姿は、闇がかくしている。

「墓場に、魔はおらぬよ……」

先に語りかけてくるその声は、男の、それも老人のものであった。

キモが冷える——、まったくそう表現するにぴたりの不気味さを味わつた佳であつたが、老人の意外に暖かい声に、心がなごんだ。

「ふむ。まつたくこれも、まさしくラフカディオ・ハーンの世界である」

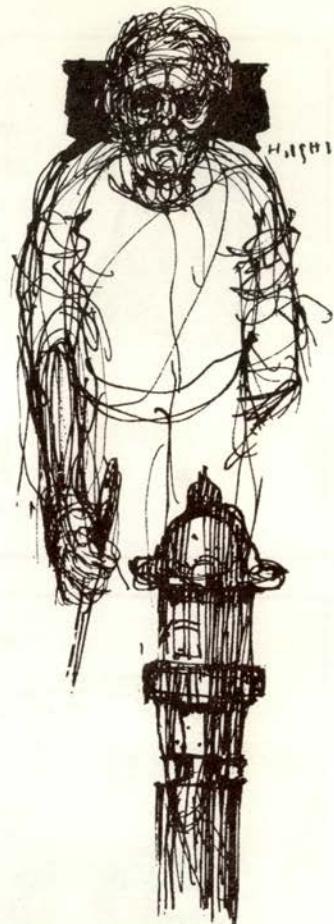
老人の出現をむしろ喜んでいるらしいヒギンズ氏に、「ノオ、私は、そうは思わない」

老人は、たいそう流暢な英語で応じてくるのである。「ハーンは、常に現実から逃がれ、非現実の美の世界におぼれこむにとどまつた。日本に心を傾けたのも逃避。彼にとっては、逃避以外のすべてがナッシングである。悪魔や魂魄について語ることすら、それは単に現実社会に適応することができぬ男の甘つたれた夢想に過ぎなかつたと、私は考える」

闇をすかして、語り手の老人らしくない鋼のよう強く頬をうながしながら、立ちあがつていて、「それに反して、この石を見よ」

老人が指さした石は、何の変哲もない粗悪な石灯籠という形でそこにあつた。

「この石碑には、かくれキリストンの墓という伝説がある。ここに坐つて、そつとこの目だたぬ石の肌をなせてみる。すると、私の耳に、何万という人間の暗いめきが響いてくるのだ。おのれ自身がうちにもつ罪悪、業の深さにおののき、禁制を破つてそつと石の内側にクルスクの像を刻みこみ、祈りに祈つた弱い人間たちの嘆きや悲しみが、私の耳に響いてくる。彼らは、決して逃げたのではない。生の季節という暗い悲しみにみちた沼の底か



にいち早く目をとめた。中に漆黒の鳥が一羽、不安そうに羽根をふるわせている。

「ケイ、心配していたのよ」

「ママどうした見せぬ蘭子に迎えられ、

「ママどうした

の？ この鳥……」

「九官鳥よ。脇坂先生の奥様がとどけて下さったの。この鳥は、うちで飼われるのが最もふさわしいんだって。奥様とても恐ろしい顔をしていらっしゃったわ」

「まあ……」

佳の心が、暗澹とした色にかげつた。

鳥籠に近づいた佳の気配で、鳥は驚いたように身じろぎ、にぶく動きはじめた。ところどころの羽根が緑青に光る、女の濡れ髪のようにつややかな黒い羽根におわれた鳥だ。

「カラスの子みたいねえ、九官鳥つて。でも、なんだか

気味の悪い鳥だわ」

佳が鳥籠のそばをはなれようとした時である。急にあわただしく羽ばたいた鳥が、老婆のようにしわがれた声でしゃべりたてた。

「ランコ、ランコオ！ キットカエツテクル、ランコオ！」

愕然として見た蘭子の顔は、蒼白になつてゐる。

「マットルンヤゾオ、ランコ、ランコ、ランコ……」

老婆の声と聞こえた九官鳥のしわがれた声は、どこかあの安酒で声帯をつぶしてしまった脇坂紫峰のにごり声

娘を待つ蘭子の意志であるのか、明るい灯がともるロビイにあがつた時、佳は、テーブルに置かれた古い鳥籠

ら、高く高く天に手をさしのべ神を求めた。おのれのうちにある罪から、一瞬たりとも疑視の目をはなそうとはしなかつた」

「では、これはかくれキリシタンの遺跡……」

佳のつぶやきに、

「そうですよ、お嬢さん……」

老人は柔軟なまなざしを佳にむける。

「この石を刻んだ人間の悲しみを理解するためには、あんたはまだまだ若すぎる」

寺と墓をとりまく星のある丸い空の縁は、なおもさまざまな電飾の灯がさざめく遠い街の灯のはてりで、オーロラのように燃えていた。そして、佳たちがたたずむ墓地の一角だけが深い堅穴の底にいるように暗くかげつてゐる。

老人は、先に立つて墓地をでながら、佳にいった。

「もう遅い……。若い娘が街をうろつくには、ずいぶん遅い時間だと思うが……」

佳は、母の蘭子に対する決してたぬ従順な心で、この老人にうなづくのであつたが……。

ヒギンズ氏に車で送られ、佳が家に帰ついた時、時刻はすでに午前一時近くになつてゐた。娘を待つ蘭子の意志であるのか、明るい灯がともるロビイにあがつた時、佳は、テーブルに置かれた古い鳥籠



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

Kent shop

7ナキヤ

元町3 TEL<32>0356



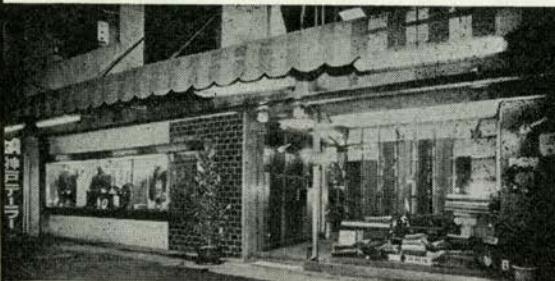
ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

元町4丁目 TEL 34-7290

高級紳士服専門店

神戸テーラー



頭持百子ラ

さんちかメンズタウン TEL 39-0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL 33-2817-3173



MEN'S SHOP
マジュウ

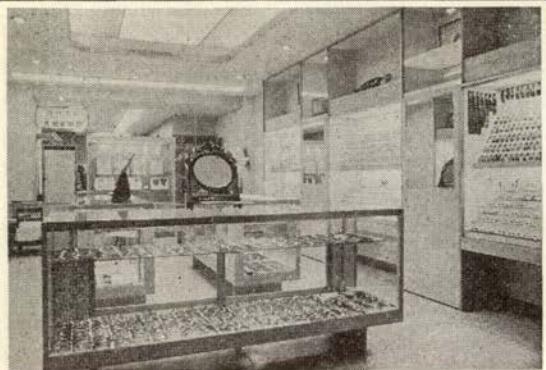
ダンディガイズだけが
語りあえる店！



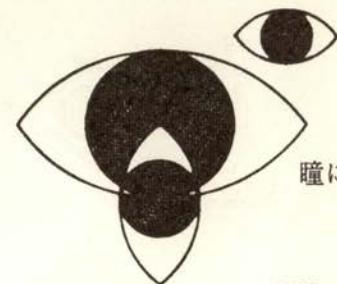
紳士服飾専門店

千秋庵

元町店 TEL 34-6959
メトロ店 TEL 34-0550



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店
太田鼈甲店
 新装開店
 元町1丁目 TEL 33-6195



瞳に美しさを保つ
 スポーツに
 美容に
 現代の科学が生んだ
 コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員
国際コンタクトレンズ研究所
 神戸市東灘区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）
 神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570

オリジナル L サイズ

草履新発売

創業明治二十一年
履物の山下
 古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房
 静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL (39) 0256



おもちゃの
 三宮方面のお買物は……
 三さんちか店 ファミリー タウン
 元町方面のお買物は……
 センター街 大洋劇場東側
 パンプク店 元町通3丁目不二前
 元町通1丁目山側
 ⑤③⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮
 ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮



支店 本店 大丸前・三宮神社

TEL さんちか味のれん街 (毎週水曜日休み) 55677742 東

TEL 39 (33) 5233 5777

おすし てんぶら

営業時間 A.M. 11.30 ~ P.M. 9.





スタンド
クラブ ガーデニア
東門筋中島ビル2F TEL 39-3329

精肉直営

まるたか

生田新道ビル地階

TEL (078) 39-8812

新世紀・ 東門筋
3333-1111
3435-6666

やつぱりうまい
むさしのとんかつ

でんわ・ 323233
1111-1111
3777-6666
3435-5555

まるたか

コベサミ

三宮

スナック

カクタス

神戸三宮農業会館西上る
東洋ビル1F TEL.33-3153



夏の想い出を語る時が来ました。夏の強烈な太陽が、涼やかな秋風が肌に触れると懐かしくなってくる。

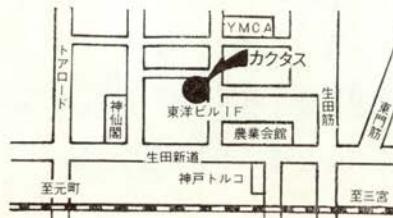
8月18日、気が遠くなるような夏空に、三宮東洋ビル1階にオープンしたのが、スナック“カクタス”である。

“カクタス”とは<さぼてん>のこと、白い壁、白いランプの快い広さのインテリアに、メキシコ名物のソンブレロがぶらさがる。

気楽に話せるママの富井愛子さんと秋の夜長を語りあうのもいいし、若い女性なら、藤間流の名取りである藤間雀雀君と騒ぐのも面白い。

落ちついた部屋の感じが、ボックスにもカウンターにもあらわれて、ハンバーガー、サンドイッチで、秋の食欲とお酒の雰囲気を満足させることができる。

営業時間 6:00 PM ~ 1:00 AM ビール ¥250.-



DRINKING

café & res

ペンギン

芦屋市公光町 7-10B-101
日生不動産阪神芦屋ビル地下
T E L 0797 (31) 2710



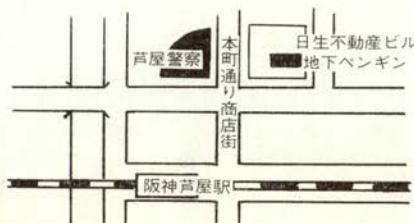
★「ペンギン」ガ 6ガツ10カ ゴゴ6ジ オーブンシマシタ。ハンシン
アシヤ キタガワ 50メートル ヤヤオクマッタコロ アナタ ト ア
ナタノ タメニデザインシタ 「ペンギン」

エイギョージカンワ ゴゴ7ジカラ ゴゼン3ジマデ。

ダイイチ ダイサン スイヨウビ ワ やスマオテイタダキマス。

こんな案内状が舞いこんだ。甲南から芦屋、西宮にかけて遊ぶ若者たちと、三宮界隈で遊ぶ若者たちとは、どこか違うところがある。芦屋のハイムードの夜を愈す貴重なスペースが、この café & rest. 「ペンギン」である。ミラーとコードバンダントが、静かなたたずまいの中のカフェコーナーの雰囲気をあらわしている。

芦屋で遊ぶ、芦屋で飲む、そのイメージを十分に楽しめてくれるのがこの“ペンギン”である。



曲線ハイウェイ

武田繁太郎
え・横塚繁



★あらすじ 浜名湖北岸の小さな岬のうえに建てられた浜名湖サイビス・エリアで、多木洋介は艶のある薄い小麦色の肌をした若い神戸の女性、宇津康子を知る。黒いルーフレザーに黄色い車体のM.V.ハーデトップを駆ってのドライブに暮色が美しいはじめた頃、多木は康子とともに館山寺湖畔のホテルに入る。

ほのかな月明りに、遠くの湖面がぼんやりと銀色に光る中で、康子は、ふと肩で秘めやかな吐息をもらして多木のなせるままに崩れていった。ふたつの身体は快樂の忘我に浸っていった。それから十日ほどたった日の朝、康子から電話があった。久しぶりに浜名湖S.Aで逢瀬をもった多木と康子は、朝霧高原へ向った。疾走する鋼鉄の密室の中で、いつか二人はたがいの身体をよせ、美しい富士のたたずまいが愛の炎を燃え上らせた。

こんなところで愛しあうつもりではなかつた。そんな魂胆で、多木も、康子をここへ誘いこんだのではなかつた。今夜は、山中湖のMホテルに予約をとつてあつた。だが、ここは無人の高原であつた。カヤの茂みと、夜の闇が、車の姿を消してくれていた。

二人は、雄大な富士の裾野に、すっぽりと抱きこまれていた。この富士も、この夜のじしまも、このあわい月の光も、すべては二人だけのものだつた。

この大自然のなかに溶けこんで、原始にかえつた男と女のように、心ゆくまで愛しあう。世俗の巷では味わえない。それは、恋の最高の悦びのように思える。

多木は、康子を横抱きにして、唇を重ねたまま、手は自然と、彼女のスラックスのわきのボタンにのびていた。康子は、一瞬、たじろいだ。車のなかで愛しあうなど

彼女には経験のないことだったのだろう。

だが、そんなためらいも、すぐ康子の動作から消えた。彼女にもまた、ここで愛しあうことが、自然な営みのように感じられたのである。

「いいわ。ちょっと待って」

康子は、多木の手を制すると、自分でスラックスを脱いでいった。身体をくねらせるようにして、下着もはいだ。薄闇のなかで、多木もズボンをずらしていった。

狭いフロント・シートは、窮屈だった。動作にくかつた。だが、そのことが、かえって、一種焦れるような奇妙な興奮を、二人のあいだに醸しださせていた。

「おいで」

多木は、自分の膝のうえに、康子を後ろむきにすわらせた。ハンドルと多木の身体とのあいだのわずかな空間で、康子は、両脚をいっぱいにひらいた恰好になつて、男の膝のうえに身体をおとしていった。

「ああ！」

康子は、自分の身体の重みで、自然と男の身体をうけいれながら、身をそらせるようにして、かすかな呻きをもらした。

両の手は、身体の真下から突きあげられてくるショックに、思わず、空を切つたが、もがいたすえに触れたハンドルを、夢中になつて握りしめていた。

多木は、背後から羽交いじめに、康子の豊かにもりあがつた胸を、しつかりと抱きとめていた。

そのことのために、この運転席が設計されてでもあつたように、二人の体位は、ハンドルとシートの狭い空間に、それなりにびたりと定まつていた。

ちかごろ、週刊誌などで、さかんにカーセックスの流行を書きたてている。だが、いったい、狭つくるしい車内で、どのようにして行なうのか。康子には、いまはじめて、その体位のひとつがわかつたようであった。

未知なものにたいする好奇心が、康子の興味をそそりそれがいっそく彼女の官能を刺激してきたらしい。

両手で握っているハンドルが支えになつて、康子の上半身は、エンジンをかけられたピストンのように、上下運動をはじめていた。誘われて、多木も、無意識に左右の水平運動をくりかえしていた。

康子の唇から、たえまない呻きがもれていた。欣びの炎が、もう彼女の下腹部で燃えさかつていて、あつた。その炎に、みずからあおられたように、康子の動きは、いちだんと激しさをもつていた。

多木も、熱してきた。二人の動きは、しだいに鮮烈になつていく。スプリングのきいたMVのボディは、二人の動きにあわせて、カヤの茂みのうえで、リズミカルにゆれつづけた。だが、忘我の二人には、むろん、そんな車のきしみなど気づけなかつた。

ながい、はげしい愛のまじわりのはて、康子の胸を羽交いじめにしていた多木の腕に、満身のちからがこもつてきた。

一瞬、もだえるように多木はふるえ、その唇から、息を吸いこむような声にはならぬ叫びがほとばしつた。と同時に、康子も熱っぽい吐息をもらし、彼女は、硬直したように身体をのけぞらしていた。

多木は、ヘッドレスに後頭部をあずけたまま、しばらくは、激情の余韻に全身を浸させていた。康子も、のけぞつた面をがつくりおとし、ハンドルに上半身をもたせかけていた。そのまま、二人は動かなかつた。

車窓からは、ほのじるい月の明りが射しこんでいた。夜の無人の高原で、二人の営みを知っているものは、月と、正面にそびえたつ富士だけだつた。

やがて、多木は、ひつそりとした声で言つた。

「いこうか」

「ええ」

康子も、夢からさめたような声でうなづいていた。

二人は、朝霧高原から、富士五湖の湖畔をぬつて、その夢は、予定どおり、山中湖を眼下にみおろす丘のうえのMホテルに泊つた。

ホテルの部屋でひとやすみして、一階のバーにでかけたときには、若い二人には、朝霧高原のカヤの茂みのかでのカーセックスの余情は、もつさめていた。

寝酒のブランドイを三、四杯あけて、三階の部屋にひきあげると、

「おいで」

多木は、康子を抱きあげて、すぐベッドに持つていつた。新しい興奮が、彼の身内にこみあげていた。康子もあらがわなかつた。

多木は、自分の手で康子の着ているものを剥ぎとると自分も手早く脱ぎ、たがいにあらわになつた身体をからみあわせるようにして、康子を爱撫した。彼の唇は、その顔から、颈から、胸から、足のさきまで、全身をくまなくまさぐつていつた。康子は、じっと目をとじたまま男に身体をあすけていた。

車のなかの営みにも、それなりのよさはあつた。だがこうしてゆつたりとしたベッドのうえでの営みには、やはり、しつぱりと身体の芯までぬれることのできるよさがある。

二人の身体は、十分に热しきつたところで、ひとつになつた。二度目の営みが、多木を持続させた。はてもなく寄せてはかえす波のような男の動きが、うけいれる

康子の五体を、その官能の波間に溺れさせた。

いつのまにか、康子の口から、酔い痴れたような欣びの声が、もれつづけていた。その反応が、多木の興奮を

狂気したように絶頂におしあげていた。

ひとつになつていた二人の身体は、完全に融けあい、やがて、ほとばしる鋭い叫びとともに、同時に到着していた。

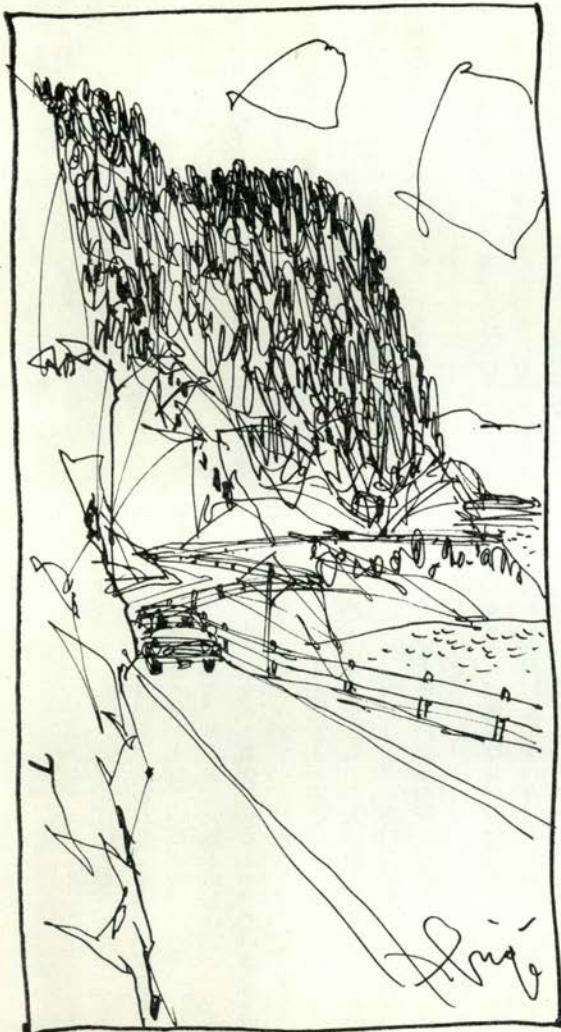
ながい余震のあとで、康子は、まだうつとりと目をとざしましたま、

「どうしたの？ 今夜のあなた。このあいだとは、べつの人みたい——」

と、不思議そうにつぶやいた。

「そりや、今夜の君が、まえよりもずっとすばらしかつたからさ」

多木は、もう全身の精気が吸いとられてしまつたような思いであつた。たしかに、今夜の康子はよく燃えた。



そして、自分をこれほど燃えさせてくれた女も、いままでにいなかつたと、多木には思えた。

心よい疲れが、多木の睡気をよんでいた。

「今夜は、ひと晩じゅう君をはなさないよ」

多木は、康子を横抱きに抱きしめたまま、ふかい眠りにおちていった。

翌朝は、十時ちかくまで、二人とも、ぐっすりと眠りこけた。目をさますと、窓いっぱいに、富士がくつきりと浮んでみえた。

「今日は、ついてるな」

多木は、晴れ晴れとした面持ちで、富士の頂きのあたりを仰いだ。こんなあざやかな富士をみられる日は、この山中湖でも、そう多くはなかつた。

「昨夜の富士とは、まるきり表情がちがつてゐるね。

ここからの眺めも、すてきだわ」

康子も、窓ぎわで多木とならんで、富士の全貌をたんのうしてゐた。その面には、もう昨夜の快楽の名残りはあとかたもなかつた。

ホテルをでるとき、支払いは、康子がすると言ひだした。館山寺のときは、多木に黙つて払はせていたのである。

「いいよ。まかせておけよ」
多木は、財布をだしかけたが、康子は、その手をおさえて言つた。

「こんどは、あたしが誘つたんだから、あたしに払はせよ」

さすがに、多木は、むつとした顔になつた。

「冗談じゃないよ。こっちからは、誘いの電話もかけられないんだぜ。誘つたほうが払はつて言うんなら、じゃ電話番号をおしえろよ」

「いいわ。それなら、こんどからは、代りばんこに払はせよ」

康子は、多木の不満を相手にしなかつた。

なんて女だろう？ と、多木は首をかしげる思いである。

若い女の身で、八十七万円もする車を独りで乗りまわしている。それで、デイト代は交代でだしあおうと言つ指には、かなり大きなダイアがひかっていた。持ちものだつて衣裳だつて、まずは一流品ばかりである。

神戸のブルジョワ娘なのか？ それとも――？ 依然として、康子は身許をあかそうとはしなかつた。

八つづく

★神戸の催物10月ご案内★



魂のジョリエッタ

★国際会館>
★坂本 九とともに
10月5日(月) 2:00, 6:00 P.M.

会員制 民音公演

★三波春夫ショー

10月7日(水) 2:00, 6:00 P.M.

A ¥1,800 B ¥1,300 C ¥700

★フラメンコリサイタル

<伴・阿部舞踊研究所>

10月11日(日) 7:00 P.M.

入場料/¥600

★鶴岡雅義と東京ロマンチカ

10月20日(火) 6:30 P.M.

演奏/ワールドキングオーケストラ

S ¥1,6000 A ¥1,200 B ¥900

主催/ラジオ関西・ディリースポーツ

・神戸新聞会館・サンTV

★審判

10月8・9日(木・金) 6:15 P.M.

10月10日(土) 1:30 P.M.

入場料/会員¥650 入会金¥100 労演公演

★カーメンキャバレロ

10月26日(月) 6:30 P.M.

会員制 民音公演

★デューク・エイセスリサイタル

10月27日(火) 6:30 P.M.

出演/デューク・エイセス 古屋真由美

司会/永 六輔 演奏/横内章次カルテット

主催/神戸新聞社・ディリースポーツ社・ラジオ関西・サンテレビジョン S ¥1,500 A ¥1,000 B ¥800

★ピンキーとキラーズ

10月29日(木)

4:00 P.M. 会員¥700、入会金¥100

7:00 P.M. 会員¥900、入会金¥100 労演公演

<海員会館>

★ベギー葉山リサイタル

10月2日(金)

★ブリリアントな欧洲の巨匠たち

1. F・フェリーニ特集 10月10日(土)

「8½」 1:00 P.M.

「魂のジュリエッタ」 3:00 P.M.

2. アラン・レネ特集 入場料/¥400

「24時間の情事」 6:00 P.M.

「戦争は終った」 8:00 P.M.

3. M・アン東オーニ特集

10月31日(土) 入場料/¥400

「女ともだち」 6:00 P.M.

「赤い砂漠」 8:00 P.M.

★カチューシャ舞踏団

10月20日(火)

<県民会館>

★堀 郁子シャンソンリサイタル

10月11日(日)

★山口博子バイオリン演奏会

10月17日(土) 6:30 P.M. 入場料/¥500

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

阿なご寿司 青辰
神戸市生田区元町通3-184
TEL 33-3435

讃岐名代うどん あこや亭
神戸市兵庫区旗塚通7-5
TEL 23-6300

和食くれない
神戸市生田区中山手通1-1-111
TEL 33-0494

かっぽう 古紋
神戸市生田区花隈町45
TEL 34-0240

鍋もの・おむすび 悟味西
神戸市生田区北長狭通1の20
TEL 33-3848
三宮さんちかタウン TEL 39-5319

お茶漬・おむすび ふる里
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 33-5535

たこ焼たちばな
三宮センター街(旧柳筋) TEL 33-0572

御食事処めばえ
生田区下山手通2丁目31
TEL 33-6792

料亭大しま
兵庫区熊内町6丁目39の6
TEL 22-1360・1945

割烹喜久重
生田区元町通2丁目82
TEL 33-1915・39-3385

★西洋料理
レストランアボロン
神戸市兵庫区八幡通5丁目6
TEL 25-3231

レストラン川あらかわ
神戸市生田区中山手2-9
TEL 22-8547, 23-3315

純フランス料理 工スカルゴ
神戸市生田区三宮町1-22
三宮センター街裏 TEL 33-5034

グリルサバー
神戸市生田区北長狭通3丁目5番地
アーバンビル2階 TEL 39-4805

レストラン男爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 24-0778

レストラン花屋敷
三宮フラワーロード市役所前
TEL 25-2109

鉄板グリル きやんどう
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 33-1183

レストランキングスアームズ
神戸市兵庫区磯辺通4-61
TEL 22-3774

グリル ケーンズ
東店 生田東門筋 TEL 39-0159
西店 農業会館西下ル 39-3212

レストランコヒー
シャトーブリアン
神戸市生田区北長狭通3丁目5番地
TEL 33-2050

レストラン&サル
サン・ジュリアン
神戸市生田区栄町2丁目11 阪神元町駅西口浜側
TEL (33) 9533
グリル・鉄板焼

月
神戸市生田区北長狭通1-24
生田社前 TEL 33-2509

レストランテキサスター
神戸市兵庫区八幡通5-95
神戸市役所前 TEL 22-7139

イタリア料理 ドンナロイ
神戸市生田区明石町32
明海ビル地階 TEL 33-7158

レストランハイエイ
神戸市生田区下山手2-20
TEL 33-7622

ピツアハウス ピノツキオ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 33-3545

レストランフック東店
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 32-3207

グリル ブーン
神戸市生田区北長狭通3-5
TEL 39-1514, 33-0694

レストランミリオナーラブ
生田区本通2丁目50の2
レストラン 23-9393-3
メンバーズ 22-1162

ステーキハウス れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 33-7168

★喫茶

フォーラン
ウエスタン

ローストシティ

神戸市生田区三宮町3丁目22
TEL 33-3770

宮水のにしむら珈琲店
コーギー中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 22-1872, 23-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目3.5
TEL 39-0669

modern Jazz & Coffee
さりげなく
生田区北長狭2-22 TEL 33-9762

★CLUB & BAR

くらぶ 阿似子

神戸市生田区中山手2丁目89
TEL 33-6069

club 飛鳥
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 33-7627

club S²
神戸市生田区下山手通2丁目6
TEL 33-2406・33-8993

エドワーズ俱楽部
神戸市生田区北長狭通1丁目28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 39-3300

club オナシス
神戸市生田区中山手通1丁目
日源ビル2F TEL 32-3520

club KOTOBUKI
神戸市生田区三宮町2丁目26
三宮本通り TEL 33-1875

club 小万
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 39-0638, 4386

club さち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 33-7120

クラブ シャルダン
神戸市生田区中山手通1丁目111
TEL 33-8589

クラブ ブルーリボン
生田区下山手通1丁目5
TEL 33-4558

club ルイス
神戸市生田区下山手通2丁目29
コーベビル地下 TEL 39-5065

クラブ 鈴
生田区中山手1丁目111 TEL 33-2403

club なぎさ

神戸市生田区中山手通1丁目111 TEL 33-8626

club 落くふき

神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515
くらぶぶーーげん

club Moon Light
神戸市生田区北長狭通1丁目24
TEL 33-0886・39-2696

クラブるふらん
神戸市生田区北長狭通1丁目53
TEL 33-2854

クラブヤングベル
神戸市生田区中山手通2丁目89
光ビル1階 TEL 33-3052

★STAND & SNACK

バタンド 英国屋

生田区下山手通2-6 相互タクシー横
TEL 33-1100 33-6600

スナック エルソタノ

神戸市生田区下山手通 TEL 33-6620

スタンド 人魚

生田区中山手1-240 TEL 33-3756

スタンド グラムール

生田筋岸ビル地階 TEL 33-4637

おとぎの国 ぴーたーぱん

神戸市生田区北長狭通2丁目1
金剛山南角 TEL 32-1380

スナックバー リチャード

神戸市生田区山本通1丁目9
小寺マンション1F TEL 24-3041

スタンド さりげなく

生田区下山手通2丁目31
生田筋上高地西入る TEL 33-3714

グラタン小屋 5つの銅貨

神戸市生田区北長狭通2-14
金剛山西入ル TEL 39-1438

スナック ピジー

神戸市生田区中山手2丁目 TEL 39-4582

スタンド 京子

生田区中山手1丁目91サッポロ西隣2F
TEL 33-6635

ドリンクスナック 薔薇屋

生田区北長狭通5丁目19-4
TEL 35-4311

スナック シルクロード

神戸市生田区生田神社前
ふじやビル2F TEL 33-1359

洋酒の店

キヤンティ
神戸市生田区北長狭通2丁目3
TEL 39-3060・39-3010

スネカシリップ子
神戸市生田区下山手通2丁目
水光ビルB1 TEL 39-8708

勢津
神戸市生田区下山手通1-5
ゼウス街 TEL 39-0516

でつさん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
三宮映劇山入る TEL 33-6778

アトラス
生田区中山手通1丁目95
TEL 33-5433

バレンタイン
神戸市生田区中山手通2丁目101
大洋ビル2階 TEL 32-2967

FAN FAN
神戸市生田区下山手通2丁目29
TEL 39-1410

みかみ
神戸市生田区中山手通1-12
東門筋入 TEL 39-3688

むらかみ
神戸市生田区加納町4丁目
但馬銀行北小路入 TEL 39-2616

クラブ・ガーデニア
神戸市生田区中山手通1丁目115
東門筋中島ビル2F・TEL 39-3329

山の手
神戸市生田区中山手通1丁目
ソネビル1F TEL 22-3637

ばんぶー
生田区下山手通1丁目6の5
東新ビル地階 TEL 39-8734

娑羅
(SARA)
生田区中山手1丁目91
TEL 39-1647

ケント
神戸市生田区中山手通1丁目91
TEL 33-9391

雅羅沙
神戸市生田区下山手通2-29
神戸ビル1F TEL 39-8894

MORE MORE
神戸市生田区中山手通1丁目107
TEL 33-4728

最後の1ドル
神戸市生田区北長狭通1丁目
チエリービル3F
三宮生田新道山側 TEL 39-2173

七よつといま
いはさなお立P屋か
ほしい!



そんなとき、バツグンに便利なのが、レンダールーム
〈貸室〉『レニア』。麻雀に商談にささやかなご会食・
スナックなど。社用私用にお気軽にご利用下さい。
生田神社東Y.M.C.A浜測ヒカリビル3階。
くわしくはお電話で——。



レンダールーム レニア

生田区中山手通2丁目38
光ビル3階
TEL. 39-1497・1498

新装開店!



「ふる里」が生まれ変わりました!!

神戸に初めて、お茶漬・おむすび・鍋ものの店として創業20年
おなじみのふる里が.....

〔店 内〕 神戸っ子好みの広々としたカウンター、包子きば
きを見ながら召上れ!

〔ふ る 里 〕 「飯を食おうじゃないか」
若くて気のいい板前さんと言葉をかわしながら
飯を食おうじゃない!!

〔変わったこと〕 定食にサラダがついている、女の子がよろこぶ
こと、うけあい!!!!

まあのぞいてごらん、すべてあなた好みのお食事処です

メニュー 定食 ¥ 500 おむすび定食 ¥ 350 鍋もの ¥ 800

カウンターお食事処
営業時間 PM 5:00 ~ AM 1:00

ふる里
(悟味西姉妹店)

神戸三宮生田筋(生田神社前)
TEL 33-5535